

足を止める駅・ゆっくり行く道

遅い交通・狭い圏域・待つ時間を豊かに転換する

リニア新幹線の利便性を享受しつつも、対極にある遅い交通（徒歩、自転車、電気バス等）・狭い圏域（伊那谷社会文化圏）・待つ時間（電車やバスの待ち時間）を見直し、豊かに転換するような中心市街地づくりを行う。

駅複合施設とプラザを中心とした「足を止める駅」では、学びや出会いの機能を加えることで、結節点として足を止め、待つ時間を楽しむ場とする。自動車を排除したプラザからりんご並木へと遅い交通で導く「ゆっくり行く道」にはシェアスペースと歩行者街路を設ける。「あたらしい中央公園」は、民間や市民管理の公園として3つに性格付けし、市民だけでなく都市圏の人々や観光客がともに楽しめる空間を作り出す。

足を止める駅

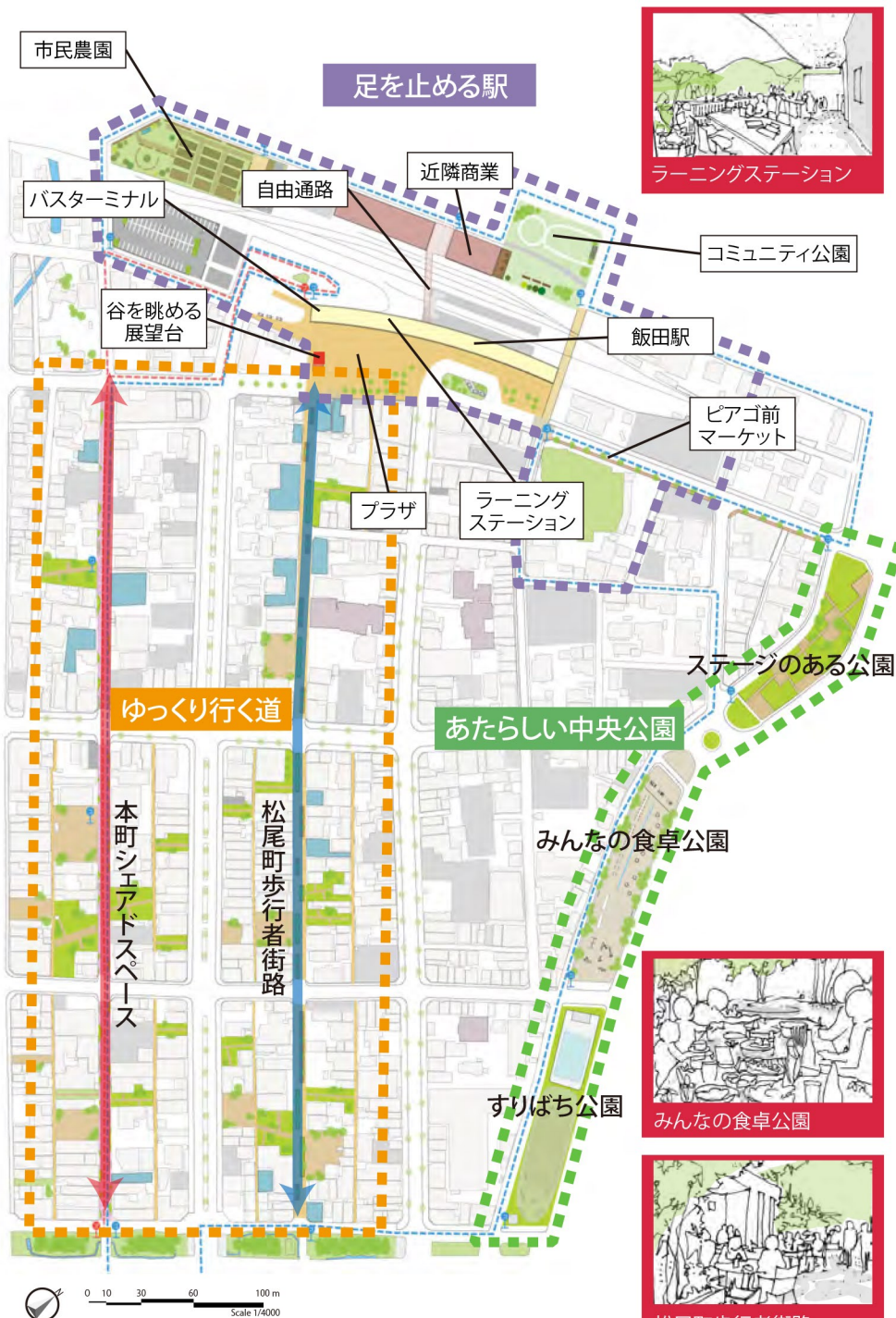
再編方針：1.既存施設に新たな機能を加えた一体的建て替えで囲い取り豊かな公共空間を創出する、2.多様な交通の結節点としての機能を強化、3.待ち時間に足を止めて人や事に会おう場所をつくる。

ゆっくり行く道

駅からりんご並木へと「遅い交通」で導く。本町シェアスペースは歩行者優先でゆっくりと走る公共交通や自動車が気遣いながら共存し、松尾町歩行者街路は歩き留まれる空間とする。裏界線を活かしてルート選択多様性を確保する。

新しい中央公園

中央公園の3区画それぞれを性格付けし、市民が管理運営し、より積極的に利用する公園として再整備する。暗渠になっている谷川のイメージを喚起させるよう、3段階に掘り込んでいく断面とする。



プラザ

駅前に人のための空間を創出する。駅複合施設で柔らかく囲い取られる。「谷を眺める展望台」がプラザの焦点を作る。



本町シェアスペース

歩行者優先。ゆっくりと走る公共交通や自動車が歩行者を気遣いながら共存する。小広場と原っぱが付随する。



ステージのある公園

ホテルを中心とした周辺企業がマネジメント。芝生とデッキのオープンなつくりとし、イベントや結婚式も行う。